

木村 雅人 議員

日本共産党三田市議団



肥後 淳三 議員

無会派



檜田 充 議員

市民の会



市 急性期医療を堅持し、さらに充実を目指す

現在、市の方向性は、救急医療を中心とする急性期医療を堅持、充実させるための取組を目指したものである。その実現には、改革プランに示す広域的な視野での医療資源の集約化が必要であると考えられる。(米田医療政策監)

他の質問 ●三田市における今後の医療情勢の分析と対応について ●三田市民の健康寿命について

美藤 和広 議員

市民の会



まちづくり 徒歩圏内で生活を完結できるまちづくりを

議員 インターネットでの会議や買い物、金融など、コロナ禍は市民生活を変えた。運転免許返納を視野に、都市機能・金融・医療・教育施設など、生活を完結できるまちづくりが必要。

市 スマートシティ推進で「住みよいまち」へ

ICT技術の活用によるスマートシティを推進することなどを通じて、市民の皆さんが、住み慣れた身近な地域で生活利便機能が利用でき、「住みよいまち」と実感していただけるよう取り組む。高齢者などが情報格差により取り残されないよう留意する。(森市長)

他の質問 ●コロナ禍の感染拡大防止について ●シティブランドと空き家対策について

説明 *スマートシティ:先端技術を用いて市民の生活の質を高め、持続可能なまちづくりを行う取組。

幼稚園

まちの再生のためにも幼稚園は残すべきでは

議員 コロナ禍において在宅勤務や安全な子育て環境を求めて都市部から地方、郊外へ移住の関心が高まっている。農村地域の特性を生かしたまちの再生を図る観点からも子育ての核となる幼稚園を残すべきでは。

市 質の高い教育や保育サービスの環境整備へ

幼稚園は第1に子どものための施設であり、子どもが一定の集団の中で質の高い教育や保育サービスを受けられる環境を整えることが最優先課題。農村地域の活性化は各部局が連携し、幼稚園の課題解決と両立させ進める。(森市長)

他の質問 ●三田市立学校再編計画による中学校統廃合について ●子ども医療費完全無料化の復活について

防災

自主防災会は条例等で全員参加の位置づけを

議員 自主防災会は、自治区・自治会が主体で組織しているが、会員以外は、防災訓練などの情報が行き届かない。住民の命は住民が守る観点からも自主防災会は全員が入る組織として条例等で位置づけするべきでは。

市 条例等での対応も視野に入れて整理する

自主防災会活動は、一定区域の全住民を対象とすべきと考えている。安全・安心の地域づくりのためにも自主防災会のあり方、要支援者情報の取り扱いなどについて条例等での対応も視野に入れ整理していく。(森市長)

他の質問 ●コロナ禍における市街化調整区域の活性化方策について ●新ごみ処理施設整備基本計画策定にあたって

北本 節代 議員

新政みらい



コロナ

飛沫感染対策に卓上スピーカーの導入を

議員 アクリルパネル等の設置で難聴者や高齢者が会話を聞き返す回数が増えている。マスク着用と身体的距離をとることで会話が難しくなることもあり、意思疎通をスムーズにする観点から公共施設全般に卓上スピーカーを設置しては。

市 試行的に導入する方向で準備を進める

個人情報に配慮した対応が必要であり、個室で行う相談時や相談内容によって卓上スピーカーの活用が効果的な場合も想定される。他市の導入状況や活用方法を参考にし、試行的に導入を進める。(東野経営管理部長)

他の質問 ●地域活性化対策について ●乳幼児虐待防止対策について

交通

新三田駅西側ロータリーの安全確保は

議員 令和3年3月に予定している新たな交差点形態について、先日実証実験が行われたが、安全性をどのように確保していくのか。

市 ロータリー利用者の安全性を確保していく

実証実験では、バスの運行状況や交差点の混雑状況、歩行者を含む安全性への影響等の基礎データを取得。乱横断が見られたため、駐輪・駐車場前の歩道に横断防止柵の設置や、案内看板も複数設置して交通規制変更の事前周知を図る。規制変更後しばらくの間、交通誘導員を配置し安全確保に努める。(久高まちの再生部長)

他の質問 ●市内県立高等学校生徒募集の定員減と進学支援について ●人権教育のさらなる推進について

林 政徳 議員

日本維新の会 三田



病院

早期に高度急性期医療の整備を

議員 三田市民病院改革プランの市民意識調査の結果によると、90%近くの市民が24時間救急医療を抱える高度急性期医療が必要であると回答しているが、今後の方向性について見解を問う。

